

支倉常長フェロー報告書

提出日 2011年 1月 6日



申請者	氏名	千葉秀平
	所属・職	医学系研究科 助教
出張期間	2011年 12月 2日 ~ 12月 9日	
渡航先	米国 コロラド州デンバー	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	NDR is required for ciliogenesis through the phosphorylation of Rabin8	

得られた成果など

2011年12月3日～12月7日の日程で、米国コロラド州デンバーの The Colorado convention center にて開催された 51th American Society for Cell Biology (以下、米国細胞生物学会) Annual meeting に参加いたしました。米国細胞生物学会は細胞生物学分野において、世界的に権威ある国際学会の1つとして位置づけられております。基礎生物学から病態・疾患に至るまで、毎年、約30のシンポジウムや約3000のポスター発表が行われます。期間中は米国だけでなく欧州やアジアからも細胞生物学研究に関わる研究者が集い、非常に国際色豊かな活気に溢れた学会です。私は支倉フェローシップのご支援のもと「NDR is required for ciliogenesis through the phosphorylation of Rabin8」の表題にてポスター発表を行い、これまでの研究成果により見出した一次繊毛形成を担うと考えられる新たな分子機構について発表を行いました。私の研究領域である一次繊毛研究は特に米国を主導に研究が行われており、国内ではあまり経験できない当該研究領域の研究者との交流やディスカッションを行うことができました。特に、ポスターセッション中は多くの研究者の方々が私のポスターを訪れ、着目している分子機構の重要性や新規性について納得する意見をいただきました。今回の学会参加を経て、自身の研究内容の位置づけを再確認し、新たな目標設定を行うことが出来ました。期間中に得られた新たな知見を今後の研究展開に活かしていきたいと考えております。ご支援賜りました GCOE 支倉フェローシップに感謝申し上げます。

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。